

協会けんぽ山形支部からの お知らせ

2022年
10
月号

職場内で回覧を
お願いいたします

令和3年度の健診受診率について

山形支部における令和3年度の被保険者（ご本人）様を対象とした生活習慣病予防健診の受診率は77.9%、被扶養者（ご家族）様を対象とした特定健診の受診率は41.3%となり、ともに全国1位の結果となりました。今後も引き続き、健康診断の確実な実施をお願いいたします。

【被保険者（ご本人）様】

全国1位

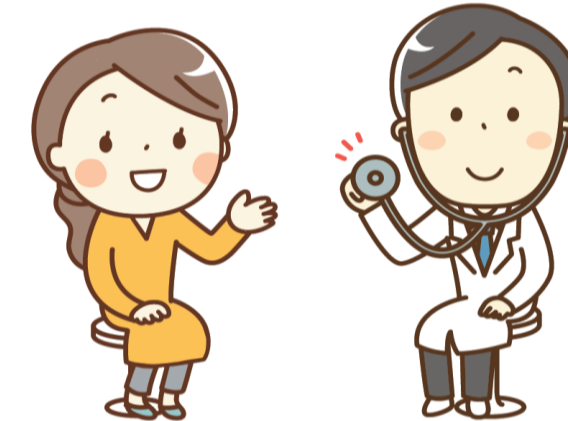
	山形	全国
生活習慣病予防 健診受診率	77.9%	53.6%

【被扶養者（ご家族）様】

全国1位

	山形	全国
特定健診受診率	41.3%	26.2%

健診は、病気の早期発見・早期治療には欠かせないものです。糖尿病などの生活習慣病は、早期には自覚症状がなく、症状が現れた時にはすでに進行しているというケースが少なくありません。定期的な健診でご自身の健康状態をチェックし、改善に取り組むきっかけとしていただくことが重要となります。皆さまの健康維持のためにも、1年に1回協会けんぽの健診をご利用ください。



未治療者に対する受診勧奨の大切なお知らせ

協会けんぽにおいて、健診の結果、血圧値・血糖値が高く、医療機関への受診が必要と判定され、受診されたことが確認できない被保険者の方に対して、医療機関へ受診していただくための通知を直接ご自宅にお送りしています。

このたび、現役世代の循環器疾患の重症化予防対策として、令和4年10月にお送りする通知から血圧値及び血糖値に加えて、**LDLコレステロール値が高い被保険者の方についても受診勧奨を実施します。**

LDLコレステロールとは？

悪玉コレステロールとも呼ばれ、肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる危険性があります。

参考：厚生労働省e-ヘルスネット

LDLコレステロール値が高いまま放置すると？

LDLコレステロール値が180mg/dL以上の方は、100mg/dL未満の方と比べて、**約3～4倍**、心筋梗塞等になりやすいことが分かっています。

参考：標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】

受診勧奨基準値

血圧	収縮期血圧	160mmHg以上
	拡張期血圧	100mmHg以上
血糖	空腹時血糖	126mg/dL以上
	HbA1c	6.5%以上（NGSP値）
脂質	LDLコレステロール	180mg/dL以上

令和4年10月通知分から新しく実施

事業主の皆さまへのお願い

健診結果から医療機関への受診が必要と判定された場合には、必ず受診することを、事業主様から従業員様にお声掛けいただくとともに、従業員様が受診できるように配慮していただくようお願いいたします。

【お問い合わせ先】 保健グループ 023-629-7235



全国健康保険協会 山形支部
協会けんぽ

生活習慣病予防健診を利用されていない事業所様へ
「定期健康診断結果」の提供にご協力をお願いします

協会けんぽでは、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、事業主様に定期健康診断結果の提供をお願いしております。

対象となる方

協会けんぽに加入している40～74歳の被保険者(ご本人)様

かつ

生活習慣病予防健診を受診されない方

提供方法

定期健診を

- ・山形市医師会健診センター
- ・全日本労働福祉協会東北支部 山形健診センター
- ・やまがた健康推進機構 山形/庄内/米沢/南陽/最上検診センター
- ・山形健康管理センター
- ・山形済生病院
- ・矢吹病院
- ・篠田総合病院
- ・天童温泉篠田病院
- ・総合健診センター
- ・庄内地区健康管理センター
- ・本間病院健診センター
- ・健生ふれあいクリニック
- ・三友堂病院

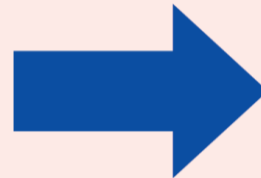
1. 上記健診機関で受診しているとき

① 同意書をご提出ください。

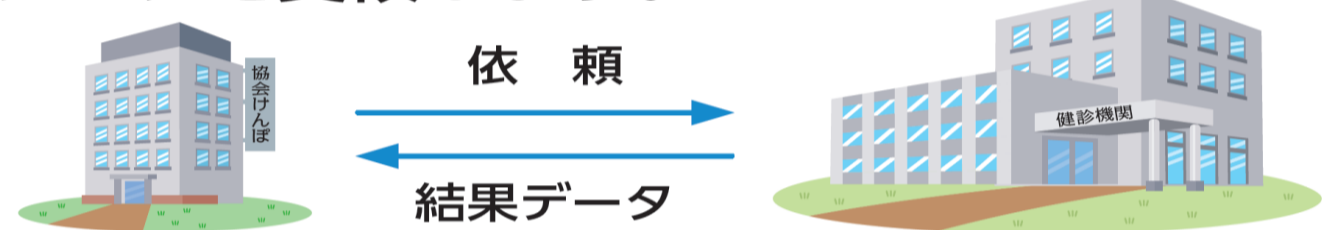
同意書はホームページからダウンロードいただけます。

協会けんぽ山形 同意書

検索



② 協会けんぽが健診機関へ提供を依頼し、データを受領します。



2. 上記健診機関で受診していないとき

健診機関がデータを作成できない等の理由により、事業主様に健診結果の写し等をご提供いただきます。

提供すると...

メリット
①

特定保健指導を無料でご利用いただけます！
ひとりでは難しい生活習慣の改善を、保健師・管理栄養士がサポートします。

メリット
②

保険料率上昇の抑制につながります！
インセンティブ制度により、皆様の取組が保険料率に反映されます。健診受診率(健診データ取得率)も評価指標のひとつとなっておりますので、ご協力をお願いします。

【お問い合わせ先】 保健グループ 023-629-7235

知らないと損する!?!～上手な医療のかかり方～

医療機関を受診する際の正しい知識を持ち上手に医療を受けることは、医療費の節約だけでなく、医療体制を守ることにもつながります。

休日・夜間の子どもの症状で困ったときは

子ども医療電話相談【#8000】を活用しましょう

☆保護者の方が、休日・夜間の子どもの症状にどのように対処したら良いのか、病院を受診したほうが良いのか判断に迷った時に、小児科医・看護師に電話で相談できるものです。

1

例えば...

頭をぶつけた

発熱



2

#8000 をプッシュ



3

医師・看護師が
電話でアドバイス



☆全国統一の短縮番号#8000をプッシュすることにより、お住まいの都道府県の相談窓口へ自動転送され、小児科医・看護師からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方やお子さんの症状に合わせた適切な受診する病院等のアドバイスを受けられます。

【お問い合わせ先】 企画総務グループ 023-629-7226

協会けんぽ山形支部からのお知らせ 2022.10月号

発行/全国健康保険協会山形支部 〒990-8587 山形市幸町18-20 JA山形市本店ビル5階 発行月/2022年10月